

マイテイ 21V

中・高流動コンクリート用一液型高性能減水剤



特徴

- ◆ **表面美観に優れたコンクリート製品が製造可能となります。**
優れた材料分離抵抗性と高い流動性を付与することが可能となります
- ◆ **中・高流動コンクリート製造の効率化が可能となります。**
増粘剤の別計量や増粘剤粉末をミキサー内に投入する工程が省略できます
- ◆ **凝結遅延が小さい中・高流動コンクリートが製造できます。**
高性能減水剤と増粘成分の組み合わせによりセメントの水和反応に悪影響を与えません。
- ◆ **安定した中・高流動コンクリートが製造できます。**
増粘成分により骨材の表面水率の変動しても安定した流動性を確保することができます。

試験データ

W/C (%)	s/a (%)	単位量(kg/m ³)			
		W	C	S	G
38.5	50.1	165	429	851	878

使用材料 セメントC : 普通ポルトランドセメント (密度3.16 g/cm³)
細骨材S : 千葉県君津産山砂 (密度2.60 g/cm³ FM2.58)
粗骨材G : 高知県鳥形山石灰碎石 (密度2.71 g/cm³ FM7.03)

混練方法 材料投入後120秒 (強制二軸ミキサー)

養生方法 6時間強度 : 前置1時間、60℃4時間、徐冷1時間

コンクリート試験結果

		×C (%)	項目	フレッシュ物性			脱型強度 (N/mm ²)
				直後	15分後	30分後	σ6h
1	マテイ21V AE剤	1.20% 0.0045%	SF (mm)	625	630	625	9.8
			50c (秒)	6.5			9.8
			AIR (%)	4.4			9.9
			CT (°C)	19	18	18	平均 : 9.8
2	従来品 AE剤	1.00% 0.0040%	SF (mm)	605	600	560	8.6
			50c (秒)	7.1			8.7
			AIR (%)	4.6			8.9
			CT (°C)	19	18	18	平均 : 8.7

製品情報

主成分……………カルボキシル基含有ポリエーテル系化合物と増粘成分

外観……………淡黄色液体

pH……………5.0~9.0

密度(g/cm³・20°C)……………1.015~1.085

標準使用量(%/粉体)……………1.0~2.5

使用上の注意点

- ① 銘柄及び主成分の異なる減水剤との混合や併用を避けてください。
- ② 誤って過剰添加した場合には、コンクリート物性に対し悪影響を及ぼす可能性があります。
- ③ 凍結した場合には、加温しながら攪拌し、溶解させてからご使用ください。

荷姿

- 18kg 缶
- 200kg入りドラム缶
- バルク
- 1000kgコンテナ

ここに記載された事項は、最新の注意を払って行われた実験事実に基づくものですが、実際の現場結果を確実に保証するものではありません。お問い合わせは下記までお願いいたします。